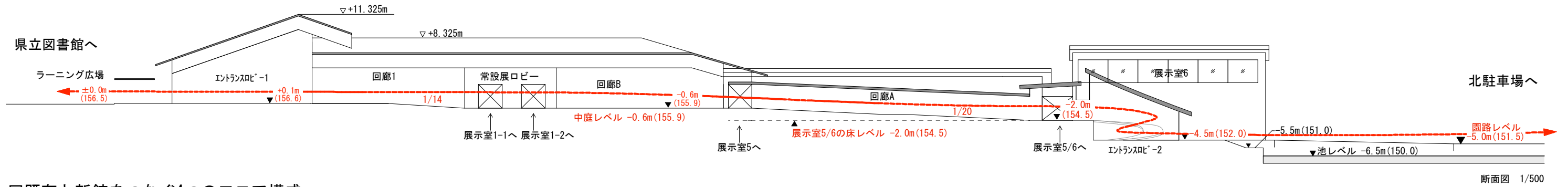


□地形沿った断面計画

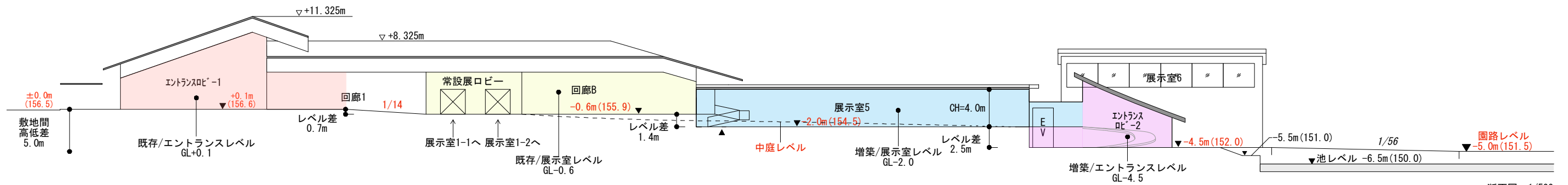
敷地の高低差は北側と南側で約5mあります。その高低差を活かし、周辺環境を取り込んだ増築計画とします。緩やかに池レベルまで地形に沿いながら増築部分を作り、美術館の中に留まらず公園を巡るように全体の回遊性を持たせ、建物と公園を連続させた断面計画としています。



断面図 1/500

□既存と新館をつなぐ4つのフロア構成

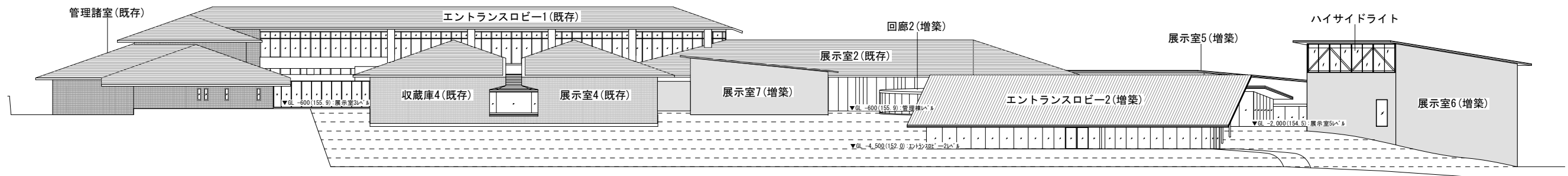
既存の近代美術館の2つのレベル (GL=-0.1, GL=-0.6) に加えて、1.4m下がった位置 (GL=-2.0) に新しい展示室5,6のレベルを計画し、さらに2.5m下がった位置 (GL=-4.5) に新しいエントランスロビー2を計画しています。各レベル差間の移動は、ゆるやかな傾斜のスロープやEVを設置し、バリアフリーに配慮した計画としています。



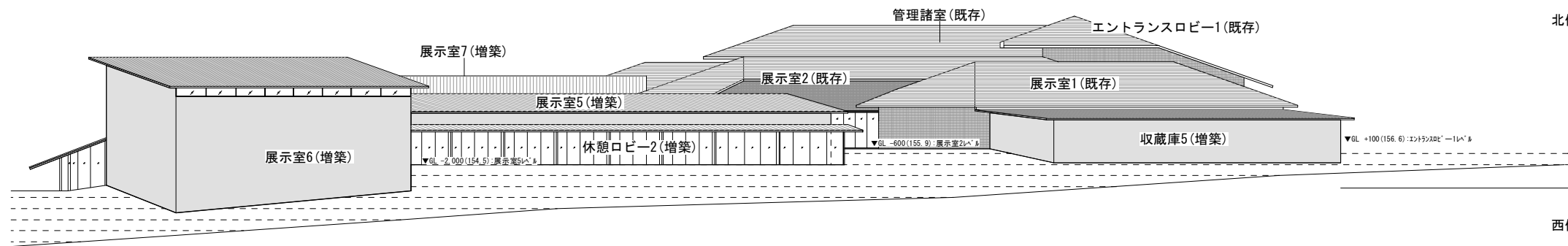
断面図 1/500

□既存館と連続した立面計画

既存建物に合わせて、増築部分も勾配屋根を採用し、新旧の建物が混ざり合うような立面計画としています。既存建物と一体となった立面は、新生美術館の新しいイメージを創出します。周辺の池や中庭や園路に向かって軒面を出すことで、様々な方向に建物の表情を作り、周辺環境に溶け込んだ外観を計画します。



北側立面図 1/500



西側立面図 1/500



南側立面図 1/500